

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
北部健康地区

平成23年3月

愛知県尾張旭市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4 - 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	健康だと思ふ市民割合	%	83.4	90	81.3	確定 見込み	×	あり なし	80.1	H23年3月	×	改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	健康づくり事業推進の結果、要介護認定率や健康寿命の面など、一定の成果が表れていることがわかった。しかしながら、市民の健康への意識の高まり、特定健康診査の開始といった環境の変化などにより、市民の健康と判断する基準が高くなったことなどから、目標値に達しなかったと考えられる。
指標2	健康づくり教室・元気まる測定参加者数	人	3,707	5,500	5,625	確定 見込み		あり なし	4,414	H22年3月		改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	これまでの参加者数の増加傾向により目標値を達成できる見込みであったが、新型インフルエンザの流行等によって市民が参加を控えたことなどが影響し、評価値と確定値とで差異が生じたと考えられる。
指標3	秩序ある街区となっている市街地面積割合	%	40	53	53	確定 見込み		あり なし	53	H22年3月		改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	計画どおり土地区画整理事業や下水道事業の整備を進捗できたことにより、目標値を達成できた。
指標4	保育園満足度	%	85.3	90	90.8	確定 見込み		あり なし	93.3	H22年12月		改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	保育園の整備事業等が順調に進んだことが、保育園満足度に直接的な効果を与えていると考えられる。
指標5	散策路の整備率	%	4	100	100	確定 見込み		あり なし	H 年月			改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	山辺の散歩道整備事業が順調に進んだことが直接的な効果を与えている。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2- から転記 全ての指標について記入

フォローアップの必要のある指標について記入

全ての指標について記入

様式4 - その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	健康増進に取り組んでいる市民割合	%	36.4	/	40.5	確定 見込み	/	あり なし	42.5	H23年3月	/	改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	従前値と比較すると増加しており、健康づくり事業の推進による一定の効果があったと考えられる。
その他の数値指標2	バス利用者数	人	70,540	/	151,015	確定 見込み	/	あり なし	135,625	H22年3月	/	改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	公共交通網整備事業の実施により、公共交通の利便性が向上し、直接的効果もあがり、市民が外へ出かける機会やまちの利便性向上に貢献した。また、健康づくり教室等参加者の利便性向上にも寄与し、健康関連事業に相乗効果をもたらしたと考えられる。
その他の数値指標3			/	/	/	確定 見込み	/	あり なし	H 年月	/		改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2- から転記 全ての指標について記入

フォローアップの必要のある指標について記入

全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4 - 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5 - 今後のまちづくり方策(事項)	実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項	
・成果を持続させるために 行う方策	健康に取り組む市民に対するサポート	・健康関連事業や散歩道整備事業によって得られた効果を維持向上させるために、健康講座や各種ウォーキングイベント等を継続的に開催。 ・散歩道の充実を図るため、矢田川河川敷の散歩道を整備中、(都市再生整備計画事業において矢田川河川敷整備事業を計画。)	・市民が手軽に健康づくりに取り組めるよう、健康講座や各種ウォーキングイベント等を開催。 ・H26年度整備完了に向けて、都市再生整備計画事業において矢田川河川敷整備事業が進めている。	・より多くの市民が健康の維持・改善に取り組めるよう、親しみのある散歩道等の整備を推進し、イベント等を活用して利用者の増加を図る。
	まちの健康のための基盤整備	・土地区画整理事業を中心とした基盤整備事業を推進。 (都市再生整備計画事業において土地区画整理事業等を計画、(社会資本整備総合交付金事業において下水道事業を計画。))	・都市再生整備計画事業により土地区画整理事業等が進められており、地区内の基盤整備が着々と進み、「まちの健康」が図られている。	・今後も土地区画整理事業を中心とした基盤整備事業の円滑な実施を図り、老朽化した道路等についても定期的な改修等を実施していく必要がある。また、土地利用に当たっては地区計画等も活用して、住環境のさらなる向上を図る。
	子育て環境の整備	・保育園(庄中)の増園、子育て支援センターの増設を図るため、プロポーザル方式により保育園の設置及び運営事業者を公募。 ・基盤整備事業の推進により子育て環境の整備を行い、併せて公園を整備。 (都市再生整備計画事業において、公園事業(旭台第3号、晴丘東)を計画。)	・平成24年度の保育園増園、子育て支援センターの増設に向けて事業が推進されている。 ・晴丘東公園をH23年度供用開始に向けて都市再生整備計画事業において整備中。 ・旭台第3号公園をH23年度改修に向けて事業調整されている。	・これまでの保育園整備事業等によって得られた利用者の満足度をさらに向上させるため、土地区画整理事業地内等の公園の整備を推進する。
	まちづくり活性化に寄与する活動	・地域住民の活動の場となる城山コミュニティ施設(仮称)の整備を推進。 (都市再生整備計画事業において高次都市施設(城山コミュニティ施設整備事業)を計画。)	・平成27年度供用開始に向けて、都市再生整備計画事業においてコミュニティ施設整備事業が進められている。	・自治会、ボランティア団体等の活動が維持・継続されるよう、引き続き連携を強化する。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	・健康の意識と実態の乖離を改善(健康に対する認識の向上)	・健康づくり教室事業等を推進し、健康に対する意識、認識の向上を図るとともに、健康づくりの実践活動を促した。	・健康講座や各種ウォーキングイベント等を開催し、健康への認識向上と健康づくり活動を促すことができた。 ・高齢者を対象とした筋力トレーニングの教室では教室終了後に自主グループが結成され、平成23年2月現在で30グループ(668人)の多くの方が筋力トレーニングに取り組んでいる。	・健康の維持、改善のための実践活動が継続されるよう、今後も健康関連事業を推進する。
	・取り残された基盤整備	・土地区画整理事業の早期完了を目指すため、基盤整備事業を促進。 (都市再生整備計画において土地区画整理事業、下水道事業、公園事業(旭台3号、晴丘東)等を計画。)	・都市再生整備計画事業により事業が継続実施されており、未整備地区の基盤整備が着々と進められている。	・未整備地区の早期完了を目指した土地区画整理事業、下水道事業等を推進し、基盤整備を促進する。
	・待機児童に対するサポート ・保育園の耐震改修	・待機児童の解消を図るため、保育園(庄中)の増園、子育て支援センターの増設を計画し、プロポーザル方式により保育園の設置及び運営を行う事業者を公募。 ・保育園(稲葉)の増園を図るため、既存施設の改修事業を実施。 ・保育園(川南・あたご)の耐震改修事業を実施。 (都市再生整備計画事業において保育園耐震改修事業、施設改修事業を計画。)	・平成24年度の保育園(庄中)増園、子育て支援センターの増設に向けて事業が推進されている。 ・待機児童の解消を図るため、既存の公共施設を改築し、保育園(稲葉)の平成23年度増園に向けて事業が進められている。 ・保育園の耐震性が保たれている。	・子育て環境の整備水準に乖離が生じないように、既存保育園の老朽化に対応した定期的な改修事業や待機児童対策等を図る。

事後評価シート 添付様式5 - から転記

様式4 - フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項